

みしま 議会だより

No.024

発行
令和8年

3月

12月定例会報告

『12月定例会の一般質問』…………… 2

『12月定例会の紹介』…………… 8



厄払い（硫黄島）

『12月定例会の一般質問』

この場で議員は、政策の執行状況や将来への取り組みなどについて、村に報告や説明を求めます。議員は一般質問をすることで、村が住民のために適切な行政運営をしているかチェックします。

山田和広 議員
片泊地区在住

Q 「村長の給与について」

山田和広議員 村長の公約から5点質問します。自身の政策を実現する為に中央に赴くのではなく給与カットし財源の一部に充てるとある。それによりどれほどの効果があると考えているのか。また、役場職員・三役・議員等の給与カットも考えているのか。

村長 現状においては20%カットを行う予定。年間200万円を考え、財源の使い方は、今後具体的に検討していく。役場職員・三役・議員の給与カットは、今は考えていない。

Q 「漁業振興について」

山田和広議員 「漁業の振興と後継

者育成を一体的に推進します」とあるが、具体的にどんな事を実施し、方法を考えているのか。

村長 地理的条件で漁業をしない選択はない。今後、関係者（専門知識を持つ人）と協議しながら方向性を定め、漁業希望者を支援したい。

Q 「畜産振興について」

山田和広議員 「畜産農家と共に考え支援策を導入する」とある。毎年1億円近くの予算を投資しているが、他にどんな支援を考えているのか。

村長 現在、畜産業界は厳しく、本村でも赤字が続いている。今までは環境支援型でしたが、これからは農家さんの声を聞きながら独自支援型を考えている。

Q 「港湾整備について」

山田和広議員 港湾整備の再開とあるが、これまでも継続的に国・県に働きかけているが莫大なお金がかかる為に年に少しずつしか進まない。そんな中、どのような方法で整備を進めるつもりか。

村長 港湾整備は現在休止している。県の管理港にするという要望は厳しいという感触だが働きかけていく。港の整備等も国や県に陳情し必要ならば議員の方々と共に陳情していきたい。

Q 「教員住宅について」

山田和広議員 「教員住宅の早期改修・子育て支援の遊具の充実」とあるが、財源がない為に優先順位をつけて改修に取り組んでいたと思われる。財源の確保は考えているのか。



村長 年度末になると財源の確保が見えてくるので繰り越し制度を活用して改修に取り組んでいく。遊具等は子供たちに必要なもの。現場の声を聞き優先的に取り組んでいきたい。

Q 「旧みしまネットの回収はどのようにするか」

山田和広議員 旧みしまネットの線や端末等がそのままになっているが、回収はしないのか。

総務課長 以前業者に依頼したところ高額だった為に断念した。地域の中で特定の方を決めて、撤去・回収を依頼しようと考えています。

徳田保 議員
硫黄島地区在住

Q 「枯れ松の伐採について」

徳田保議員 枯れ松の伐採が10月に実施されたが中途半端に終わっている。シロアリ発生の原因になると思うがどのように考えているか。

経済課長 硫黄島地区の枯れ松は、

7月に学校周辺や集落内を調査して83本を確認しています。県内で強剪定倒木工事の実績がある業者に依頼し8月18日から11月28日の102日間の工期で工事しました。契約金額は298万9800円です。

調査した83本のうち、剪定が必要な松35本にマーキングし、機械が入れるところを中心に52本の松を処理しました。しかしながらマーキングした松のうち、3本は特殊伐採が必要で今回処理できませんでした。

シロアリ発生等が懸念される中途切りの木は、令和7年度末の補正予算で追加伐採を考えていますが、人等での特殊作業が必要な場所は費用がかさむことが懸念されます。予算の関係で、令和8年度以降の予算で危険度や緊急性に応じて優先度を考慮し、事業を進めたいと考えています。

徳田保議員 残された3本の松は車



の入らない場所で、木に登って上から伐採していく特殊伐採といい、そういう業者があるそうなので1本あたりの金額も高くなりますけど、あの松は倒れたら家が潰れるくらい大きくなるので早めの対応をお願いしたい。

Q 「村道大浦線の擁壁のコンクリートの崩落について」

徳田保議員 先日、擁壁のコンクリート塊が崩落した。いつ大きな崩落が起きるか不安だが、どのように考えているか。

経済課長 先日住民の方から村道大浦線擁壁コンクリートの一部崩落についてご連絡を頂きました。すぐ業者の方にドローンを飛ばしてもらい、擁壁上部と側面に一部崩落跡が確認できました。

現在、県の道路維持課に相談していますが、来年度社会資本整備総合交付金の防災安全交付金で大浦線短繊維混入モルタル吹付工事600㎡の予算要望を予定しています。危険箇所につきましては、数か所落石危険等の看板設置を行います。

現場は日常的に使える迂回路等が無く、牧場への道路でもあるため、今後避難道の伐採作業等も視野に入れて、次年度以降の予算で対策します。

徳田保議員 私は6月議会でもこの件について要望しました。ここ数年財源の状況で工事できなかったようですが、大事な幹線道路で事故が起きてからでは遅いので、優先順位を決めて早めに対応願いたい。

Q 「集落内の道路補修について」

徳田保議員 集落内の道路補修に対し材料提供はされているが、補修が進んでいない。どのように考えているか。

経済課長 令和7年度内の村道補修工事は、大里地区内出張所前道路補修工事、村道硫黄岳線舗装工事、大里地区村道丸瀬線補修工事、村道大里線維持工事を実施しています。

原材料費として道路補修材料を計上していますが、少額のため補修が追いついていない状況が続いており、また道路補修工事も予算の関係上でき

る箇所が限られているのが現状です。

一部陥没箇所等も確認しておりますので、現地での道路状況をよく確認し、令和8年度の予算に反映させてまいりたいと思います。

徳田保議員 地区内の道路は、車はよくても、バイク、自転車は転倒してけがをする状況。外部の方々が見ても見苦しくないよう整備していく必要があります。検討をお願いしたい。

日高学 議員
大里地区在住

Q 「マニフェストの具体的展望と財源」

日高学議員 山田議員とかぶりですが、村長選で掲げた公約の内容は、これまで議会でも追及して財源難で結果が出ていないものです。展望をあらかじめ持つていらつしやると思いますが、ある程度の期間を定め具体的に示していただきたい。

村長 「給与カット」令和8年度から20%カットを段階的に実施し、処

遇改善は4年間で目標達成を目指す。

「最低賃金」現場の丁寧な作業を評価し、現行の1037円からの改善に意欲を示す。

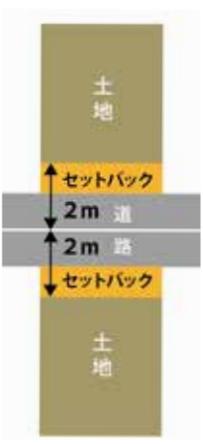
「港湾整備」困難な事業だが、県の理解を得つつ補助金の目処が立ち次第、優先順位をつけ取り組む。

「教員住宅」財源状況を見極め、大小の改修を織り交ぜてスピードアップを図る。

「地域おこし協力隊」各地区3名配置を推進。国の特別交付税により村の財源負担なく実施可能。

「財源捻出」既存事業の精査、職員の業務量や執行状況の徹底的な見直しにより捻出する。

Q 「大里地区の空き家・住宅問題」



日高学議員 協力隊員を各地区に3名配置するとしても大里に住宅がない。どうお考えか。

村長 「大里の現状」空き地が皆無で建築基準法のセットバック規制により更地からの新築は極めて困難。

「解決策」現存する空き家を村に譲り受け、改修して住めるようにするのが現実的かつ迅速な手法。

「大型造成」複数区画をまとめた造成も構想にはあるが、財源と実現性の観点から慎重な判断を要する。

「優先事項」協力隊の配置に必要な住宅確保を最優先とし、日高議員（区長）の協力を要請。

Q 「新しい課の新設とチャレンジ事業」

日高学議員 チャレンジ事業は、私も強く訴えていました。そのための新しい課をつくる考えはありますか。

村長 「組織改編」課長級の定数条例や県との協議、国による財源保証

がないため、現時点で新設の予定はない。

「手法」新設する場合は、スクラップ&ビルドが原則。単なる名称変更ではなく本庁改編を含む検討が必要。

「今後の対応」議員の提案を伺いつつ、既存職務の均衡を保ちながら検討課題として認識する。

日高学議員 大里と片泊の現状を熟知している村長に議員時代の発言を引いて早期の住宅対策着手を強く求める。

Q 「地域担当職員制度の運用改善について」

日高学議員 地域担当職員は尽力しているが、活動が見えにくい。地域責任者、担当課長、村長が同席して問題解決できる仕組みが必要だ。現場任せにせず、企画や見積もり等の情報を地域と共有する体制を求める。

村長 本制度は令和4年に制定され、地域と行政の一体化が目的だ。職務は、地域情報の収集、行事への

参画支援、住民との連絡調整である。

庁内では担当職員の会合を持ち、要望を令和7年度予算にも反映させている。選挙戦を通じ、住民の要望が十分に扱われていないという声も聞き及んでいる。寄せられた声は担当分野を問わず「役場全体への声」として認識し共有する。実現の可否を含め、精査した結果を必ず相手に報告することを徹底したい。特定の担当者に丸投げせず、組織として対応する機会を確実に設けていく。

日高学議員 制度発足から日が浅く未熟な部分があるのは理解している。知らない間に物事が進むことがないよう進捗状況の共有を重視してほしい。地域と役場が連携し、より良いシステムになることを期待する。

Q 「これまでの一般質問でお願いしたことへの進捗率」

日高学議員 県道危険箇所改修や黒い送水管の露出放置、水源の施工不良はどうか。

経済課長 県道は現地確認済み。令和7年度予算で危険箇所や伐採等の協議を引き続き継続する。

送水管工事は一部実施済み。水質は基準内だが、抜本対策は送水管埋施設及び全貯水タンク直射日光遮断にしても財源が厳しい。

水源施設更新は令和13年度計画だが、濾過材は早急に現地確認する。日々の業務の中で、できる限り進捗を報告できるように努力したい。

日高学議員 法や基準を盾に「できない」と言うのではなく、住民の声に寄り添うべき。水温検査も輸送中に温度は下がるし、県の検査機関での温もった水の問題解決とはならない。実態に即した目に見える改善を。

AEDの配備状況と、車庫シャッターの進捗についても伺いたい。

総務課長 AEDは4台納品済み。近日発送し、各地区の出張所等へ設置依頼する。経費節減のため、取り付け作業は各地区での協力をお願い



したい。シャッターは写真で状況把握し見積依頼中。来年度、必要予算を要求したい。

日高学議員 出張所を窓口で情報を集約し、本庁との連携を強めるべき。現場の要望に真摯に向き合い、着実に物事を進めて頂きたい。

Q 「竹島の人口問題」

日高学議員 竹島の人口が50人を切り、無人島化の危機にある。村の最優先課題ではないか。

村長 非常に厳しい状況と認識。畜産農家やおかげ留学生の受け入れに注力したい。特に竹島へは「地域おこし協力隊」を優先的に配置し、空き家の活用も進める。畜産業と協力隊を絡めた定住促進など、村を挙げて必死に取り組む覚悟だ。

日高学議員 隣の十島村では協力隊

の定住実績が出ている。三島村も続くべきである。大里地区にも協力隊が住める住宅整備を強く要望する。

Q 「公園遊具再配備」

日高学議員 先ほど山田議員からも出ましたが、大里ミニ公園遊具撤去後未配備問題。撤去して終わりじゃないと思います。

民生課長 再配備には業者工事費を含め約200万円を試算している。今年度当初予算では財政難により予算化を見送った。安全な遊び場の確保は行政の責任。要望を再確認し、設置を検討し続けたい。

宮田穰 議員
大里地区在住

Q 「マイナンバーカードの更新手続きについて」

宮田穰議員 マイナンバーカードの10年更新の手続きを迎える方がいる。マイナ保険証の方は5年更新、マイナンバーカードは10年と更新

時期も違うので、うっかり失効など起こりやすい。本庁舎だけでなく、出張所で更新出来ないか。

マイナ保険証は、解除累計が9万件を超えて、多くの自治体から解除希望の声も多い。その理由は、紛失や盗難時の情報漏洩のリスク。再発行に1〜2ヶ月かかる時間と手数料。紛失や更新を忘れた際は医療費は10割負担で、通信障害、停電時は利用できないなど。受診が滞る可能性がある。

これから運転免許、パスポート、銀行口座等の、情報を紐付けて1枚にまとめるようですが、ネットを介して利用するので、サイバー攻撃などで個人情報がかかるとも高い。実際あり、非常にリスクが高い。

東京の世田谷や渋谷区では全員に資格確認書の配布を決定している。また、そういう自治体も増えている。マイナ保険証の有無にかかわらず資格確認書を全員に配布してほしい。

民生課長 出張所でも同様にマイナ

ンバーカードの更新手続きをするには、国の基準を満たす専用機器やセキュリティ通信環境の整備、新たな職員配置にかかる人件費などが必要で、その費用はおおむね1500万円程度と見込んでいます。

また個人情報を取扱う場所が増えることで、情報漏洩リスクが高まること、さらに職員の事務負担が増える課題もある。これらの点から、現時点では、早期の導入は困難と認識している。マイナ保険証および資格確認証に関する事だが、12月1日をもって、すべての健康保険証の有効期限が切れ、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行した。本村の、令和7年12月10日時点のマイナンバーカード取得者は294人、取得率82.3%その内マイナ保険証の登録状況は、国民健康保険で101人中7人、後期高齢者医療60人中50人となっている。本村のマイナ



保険証の解除に関する問い合わせは、現時点ではない。

資格確認書については後期高齢者医療制度では制度上、令和7年8月1日から1年間を猶予期間とした。国民健康保険では制度上、一律配布は求められていないが、必要とされる方の発行交付は、すでに完了している。

なお、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行したものの、高齢者の方を中心に、新しい制度への不安から、紙の資格確認書も持ちたいという声があることも承知している。こうした不安を鑑み、必要とされる方には資格確認書を交付します。

宮田穰議員 必要とされる方に交付ということだが、マイナンバーカードの更新を忘れた人も資格確認書さえあれば今までと同じ医療が受けられる。全員に配ると概算でどれぐらいの費用がかかるのか？何かデメリットがあればお伺いしたい。

民生課長 仮に全員発送する場合、印刷、封入、郵送の経費と事務負担

が大きく増加するので、現時点では慎重に判断している。資格確認書を発行するには一枚あたり約150円。すべての方に発行すれば5000円程度と、これにプラス職員の事務負担もあるので、慎重に考えている。

宮田穰議員 びつくりするような金額ではないと思う。どちらも使える状態にしておくのが高齢者にとっても安心安全なことだと思うので、全員配布をお願いしたい。

…… 後日、訂正答弁 ……

民生課長 国民健康保険の資格確認書用を一律配布した場合の経費について、訂正がございました。資格確認書の経費を1枚約150円としたのは誤りでした。

資格確認書は、年度ごとに色が異なる専用台紙が必要で、約100枚（20万円程度）をひと組つつ購入する規格となっている。その他諸経費、印刷代、封筒、切手、人件費を、約10万円と見積もっている。訂正してお詫び申し上げます。



Q 「農産物支援について」

宮田穰議員 黒島では農作物を作る方が多い。自分で作ったものを消費して、余りは本土の親族に送るなどしている。現在、大里地区の生活センターには無人販売のようにして、黒島みかんや、ハヤトウリなどが置いてある。

我が国の食料自給率はカロリーベース40%を切っている。鹿児島県は79%生産額ベースで271%と、全国でもトップクラスの食料自給率。豊富に食べ物もある鹿児島県産のものを、思うように手に入れづらい。

就農支援には、まずそれなりの組織を形にし、少しずつでも三島村のなかで島でとれるものや経済が循環する仕組みづくりが必要。フェリーでの販売など良い施策はないか？

経済課長 現在、物価高騰等の影響で消費者の家計は圧迫されている。一方で、国内の農家は資材高騰等で苦しい経営状況。そこでJAが提唱している国産国産という言葉があるが、置き換えると、村消費産となる。

現在は、個人間で物々交換をする方が多いが、まずは無人販売所などで島内で消費する形が理想的。子どもたちの食育にもつながる。島間の交流の場として、野菜マルシェ等の開催も地域の活性化につながるのではと考える。

政策的なところでは、新規就農者として園芸作物等でさまざまな事業を活用するためには、農家として主で生計を立てられるように栽培面積や栽培量の実績を上げる必要がある。就農相談等あれば、適切に対応していく。

宮田穰議員 野菜に限らず、片泊地区では圧力釜だとか真空パックの機械などで新鮮な魚を加工し、船で販売する仕組みが出来たらと思います。

Q 「林道伐採について」

宮田穰議員 村道、林道が荒れており、現在の予算では1/4も整備出来ない。通行頻度の高い所を優先して整備出来るように予算確保していただきたい。合わせて、黒島平和公園へリポートの伐採やフェンスの整備の方もお願いしたい。

経済課長 村道、林道の伐採について、令和7年度予算で計上されている予算が、村道環境等整備事業業務委託として154万円×4地区、林道は、維持補修費として50万円、通行頻度の高いところを優先的に整備できるように、予算計上している。各地区の状況がそれぞれ異なるという点と、燃料費の高騰、最低賃金の改定等を考慮し、令和8年度の予算に反映させていきたい。

中原良範議員
竹島地区在住

Q 「村営住宅の改修工事について」

中原良範議員 村営住宅に入居して30年近くなる。台所や流し台は老

朽化して排水口は異臭がする。出入りの多い住宅は改修され、出入りがない住宅はそのままである。どうか対処できないか。

経済課長 村営住宅の設備不良の連絡を頂いた場合は、予算の兼ね合いで、現地確認し、検討し、緊急性の高いものから順に対応している。

Q 「フェリーみしまの欠航について」

中原良範議員 11月5日は、どのような条件で欠航になったのか。欠航になる気象条件は船内にもうたつているのですが。

船舶課長 実際のところ午後の風速は予報が違い、そこまで吹いていなかったと聞いています。予報が外れることもあると思います。天気予報を重視し判断していきたい。



Q 「職員の退職について」

中原良範議員 9月議会で徳田議員より職員の退職について話ができました。この半年で課長2名、この2年で8名の退職者。個人的な事情かもしれないが、どう考えますか。

村長 今後職場環境の風通しをよくして適切に対応し、改善し、働きやすい環境作り、辞める職員が継続的に働ける環境作りに努めたい。

『全員協議会の紹介』

宮田穰議員

○ 宿泊助成申請書の内容がわかりづらいので修正していただきたい
○ マイナンバーカードの訂正答弁について質問

徳田保議員

○ 道路の側溝の蓋が破損している（特に学校周辺）
○ 大浦の道路のグレーチンが陥没している

『12月定例会の紹介』

予算や決算に関することが議会の大きな役割ですが、それ以外にも大事な議題がいくつもあります。12月定例会は、各定例会で随時議論している『一般質問』『条例の制定・改正』『補正予算』などを中心に話します。

令和7年度
三島村一般会計補正予算
(第3号)

【採決】可決

【質疑】



徳田保議員 公有財産購入費の内訳を教えてください。

また、家の中の調査は進んでいるのか、改修箇所はないのか。

総務課長 家屋は建築の方が確認して写真を撮っています。

徳田保議員 状況に応じて改修とのことだが、住宅も少ないので、なるべく早く入れるようにしてほしい。

総務課長 長く住んでいなかった為、改修が必要で、早めに改修したい。



日高学議員 昨年の硫黄島や最近の大分の山火事等の

教訓から、火災予防の重要性を指摘。

多くの家庭の火災報知器が設置後10年たつて故障している。高齢者の高所作業は危険なので、機器は各家庭で準備して、設置は行政が予算化し、消防団の協力で作業できるように手配をお願いしたい。

総務課長 設置に関する手配の要望と受け止めた。必要性は十分理解しているため手当の可否を検討したい。

日高学議員 何らかの形でこういった補正に組み込まれればいいと思うが、大里地区の80代住民が、自費と廃材で無人販売所を製作した。出



張所の許可を得て設置され、住民に活用されている。こうした個人の善意やボランティア活動を支援・評価し、今後の補正予算等で組み込める仕組みを検討してほしい。

令和7年度
三島村国民健康保険特別会計
補正予算(第2号)

【採決】可決

令和7年度
三島村介護保険特別会計補正
予算(第2号)

【採決】可決

令和7年度
三島村船舶交通事業特別会計
補正予算(第2号)

【採決】可決

令和7年度
三島村特産品焼酎事業特別会
計補正予算(第3号)

【採決】可決

令和7年度
三島村簡易水道事業会計補正
予算(第1号)

【採決】可決

【質疑】



日高学議員 大里地区の貯水タンク清掃が今年度実施されていない。以前の担当者から実施予定と聞いていたが状況はどうか。

経済課長 今年度は片泊地区の清掃を予定している。大里地区については、来年度以降の計画となっている。

日高学議員 衛生管理上、非常に重要な作業。今回の補正予算で対応できなかったのか。早期実施を求めます。

経済課長 財源の確保を含め、今後しっかりと対応を検討していきたい。

編集

議長 長濱 義人
議員 徳田 保
議員 日高学
議員 中原 良範
議員 宮田 穰
議員 山田 和広

デザイン 棚次 理

発行

鹿児島県三島村議会
〒892-0821
鹿児島県鹿児島市名山町12番18号

※本誌は議会の内容を要約したもので、やりとりの順番などが実際と異なります。正式な記録は各出張所などにある議事録でご確認ください。